

広報広聴委員会先進地視察報告書

日 時	令和2年1月22日（水）午後1時30分から午後3時30分まで
視 察 先	静岡県富士市議会
視 察 項 目	(1) 高校生を対象とした議会報告会について (2) ふじ市議会だよりについて (3) その他の取り組みについて
視 察 者	委員長 夏目 豊 副委員長 伊藤清一郎 委員 石濱隼人、藤井貴範、泉 清秀、中平 猛、古俣泰浩、渡邊眞弓
視 察 内 容	(1) 高校生を対象とした議会報告会について 平成28年に、富士市立高校からの要請により懇談会を開催した。総合探究科3年生の模擬議会の授業や財政探究プログラム授業の一環で、グループワークの際にアドバイザーとして協力した。 選挙権年齢の引き下げも踏まえ、平成29年に富士市立高校で議会報告会を開催した。以降、決算認定時に行う議会事業評価の中から高校生にとって身近な対象事業を選定し、毎年報告とグループワークを実施している。 今後は、対象者の拡大や時間配分などの内容の再考をしていく。 (2) ふじ市議会だよりについて 平成30年8月に市議会だよりのリニューアルを行った。表紙写真は、市内外問わず好評の富士山百景写真コンテストの入賞作品を採用している。 最小限の情報の掲載にとどめ、写真や図表、イラストを多用している。 マンネリ化防止と編集スキルの向上が今後の課題である。 (3) その他の取り組みについて 議会報告会に若い世代を呼ぶには、子育てや幼児教育についてなどのテーマにするのがよい。SNSでの周知よりテーマ設定が重要になる。
所 感	富士市では、平成23年から実施している議会報告会の実績があったからこそ、若者に合わせた内容を短時間で報告することができたのだと感じた。生徒に身近な題材を取り上げるなど、今後、議会報告会などでグループワークを行う際の参考となるものであった。 本市議会の50周年記念事業で行われる中学生を対象とした出前講座においても、グループワークが予定されている。そのテーマに関しては、活発に発言が出るよう、中学生が興味を持っているものを設定し、年齢に応じて思ったことが言い合える場づくりをすることが重要である。 ふじ市議会だよりに関する視察では、議会の広報機能のために議会広報委員会を立ち上げていた。議会だよりの制作だけでなく、議会ホームページまで担当し、広報に関する業務を広く担当していた。 「ちた市議会だより」も、議決機関の広報紙という使命を逸脱しない範疇で、読者の視点に立って、記載内容、紙面構成、段組などを大胆に見直し、読者アンケートなど、市民の意見を参考に改善を進めていくべきだと考える。また、費用対効果の検証も必要と考える。 見やすい、わかりやすい議会広報誌に向けた取り組みを視察することができ、今後の編集方針、来年度予定されている知多市議会50周年記念記事の編集に大変参考となる視察となった。